

1 宮津市の人口・世帯数(平成23年6月末現在)

【住民基本台帳より(外国人登録含む)】

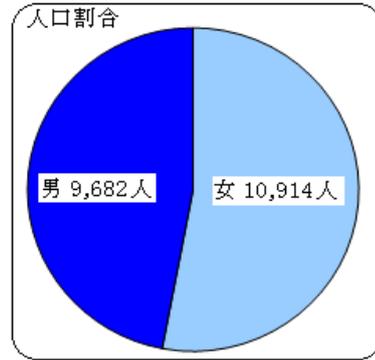
人口 20,596人(男:9,682人、女:10,914人)
(前年同月比 -296人)

世帯 8,811世帯
(前年同月比 -18世帯)

<資料:宮津市役所 市民室>

6月末の宮津の人口は、前年同月比-296人(-1.4%)、世帯数は対前年同月比-18世帯と、減少傾向が続いている。

※ 住民基本台帳に基づいた人口・世帯数であり、推計人口とは異なります。



2 一般職業紹介状況

	新規求職数	新規求人数	就職件数	有効求人倍率(実数)		
				宮津出張所	京都府	全国
平成23年3月	343	312	170	0.73	0.68	0.65
(前年同月比)	-1	+32	-3	+0.17	+0.12	+0.15
平成23年4月	288	185	110	0.54	0.56	0.56
(前年同月比)	-29	+12	-5	+0.11	+0.07	+0.11
平成23年5月	186	142	103	0.49	0.55	0.54
(前年同月比)	-18	+4	+3	+0.09	+0.07	+0.10

<資料:ハローワーク宮津>

宮津出張所の有効求人倍率は、17ヶ月連続の増加となり、前年同月比で+0.09~0.17%となっている。また、全国では14ヶ月、京都府では13ヶ月連続の増加であったが、震災の影響もあり増加率は減少している。

【有効求人倍率とは】公共職業安定所で扱った月間有効求人数を月間有効求職者数で割ったもの。

この値が1より大きければ、求職者よりも求人数が多いことを意味し、就職口を求めている人にとっては相手を選ぶことができるため有利となっており、それだけ経済に活気があると考えられる。

3 宮津観光入込状況

宮津天橋立IC・与謝天橋立IC交通量 ※()は内無料通行台数

	宮津天橋立IC		与謝天橋立IC	
	入口(台)	出口(台)	入口(台)	出口(台)
平成23年4月	57,917(24,398)	63,522(30,979)	66,336(30,979)	61,850(24,398)
(前年同月比)	+5,838	+10,011	—	—
平成23年5月	72,304(26,475)	72,269(30,786)	75,566(30,786)	71,875(26,475)
(前年同月比)	+245	+811	—	—
平成23年6月	57,842(23,751)	59,819(28,180)	63,960(28,180)	60,915(23,751)
(前年同月比)	+3,157	+4,471	—	—

<資料:京都府道路公社>

6月の交通量に関しては、夜間工事(通行止)と20日からのNEXCO無料化社会実験中止等の影響があると思われる。

宮津市内主要駐車場 利用状況 ※()は内バス台数

	市営天橋立	智恩寺	パーキングはままち	籠神社
平成23年4月	956台(0台)	3,406台(141台)	10,296台(3台)	1,850台(402台)
(前年同月比)	+635台(-2台)	+233台(-213台)	+707台(-4台)	+30台(-399台)
平成23年5月	3,145台(4台)	5,977台(216台)	10,470台(17台)	3,042台(582台)
(前年同月比)	+255台(-3台)	+1,789台(-41台)	+765台(+8台)	+557台(-108台)
平成23年6月	580台(1)	3,931台(525台)	10,700台(2台)	2,475台(891台)
(前年同月比)	+268(0)	+137台(-107台)	+253台(-23台)	-27台(+18台)

<資料:宮津市役所 建設室・智恩寺・(株)まちづくり推進機構・籠神社>

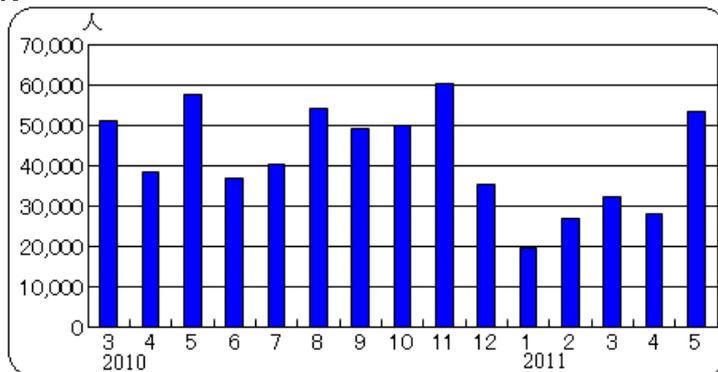
宮津市内主要駐車場の3ヶ月間の入込数については、全体的に増加しており、前年同月比では5,602台の増加であったが、バスは874台の減少であった。

天橋立傘松公園 ケーブルカー・リフト利用客数

平成23年3月	32,220人
(前年同月比)	-18,856人
平成23年4月	27,930人
(前年同月比)	-10,243人
平成23年5月	53,289人
(前年同月比)	-4,282人

<資料:丹後海陸交通株式会社>

震災の影響により、前年同月比で大幅に減少している。

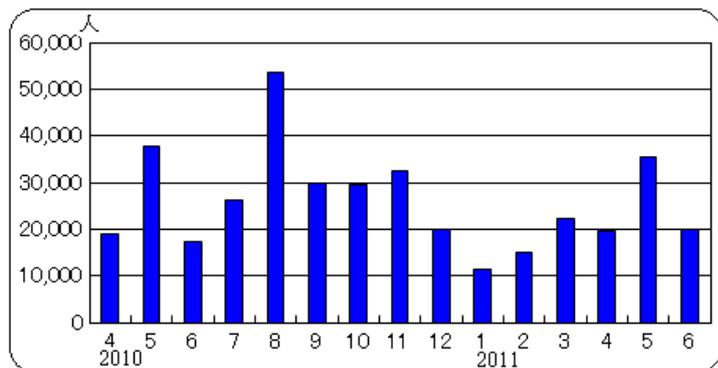


天橋立ビューランド モノレール・リフト利用客数

平成23年4月	19,600人
(前年同月比)	+662人
平成23年5月	35,413人
(前年同月比)	-2,471人
平成23年6月	19,984人
(前年同月比)	+2,706人

<資料:天橋立総合事業株式会社>

5月は前年同月比で減少であったが、6月は13%以上増加している。



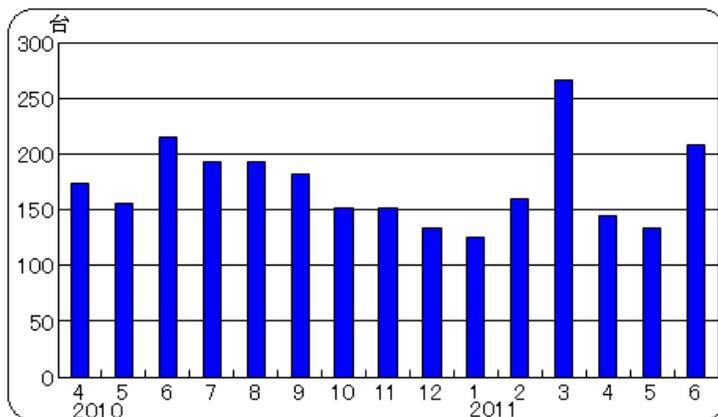
4 自動車車庫証明申請台数

【普通車(新車・中古車)】

平成23年4月	145台 (前年同月比 -28台)
平成23年5月	133台 (前年同月比 -23台)
平成23年6月	208台 (前年同月比 -7台)

<資料:宮津警察署>

車庫証明申請台数は前年同月比 - 3.3% ~ - 19.3%減少している。理由として、エコカー補助金が昨年9月末で終了した事と震災の影響が考えられる。



5 トピックス

宮津景況調査アンケート(調査期間 平成23年4月～6月) 回答企業数 33社

※調査方法 建設業・小売業・卸売業・製造業・サービス業の5業種を、規模、事業内容等を考慮し、各10社以上、計62社にアンケートをお願いした。

問1 東日本大震災について。(1、2は重複回答有り)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	サービス業	合計
1 影響がある	2	3	3	3	9	20
2 震災直後は影響があったが、現在は解消された	0	4	1	2	2	9
3 影響はない	2	0	0	3	0	5

1 影響がある

◇建設業

- ・公共工事の削減や、企業の社会的負担(税など)が上がる。
- ・材料の値上がり。

◇小売業

- ・材料、仕入等が困難である。
- ・未だに入っていない商品もある。
- ・少しではあるが商品仕入が困難である。
- ・現在では直接的には感じていない。

◇卸売業

- ・飲料メーカー、缶詰メーカーなどのアイテムが完全に揃わない。特に、夏場に放射能汚染が拡がった場合、飲料メーカーからの仕入れは絶望的になる。
- ・種類によって被災地の優先品目があります。
- ・観光を控える人が増えた。逆にGWは西日本方面からの観光客が増えた。

◇製造業

- ・仕事の受注量の激減。
- ・受注件数が少なくなった。
- ・東日本商品特需の影響で、西日本の酒造メーカーの動きがにぶい。

◇サービス業

- ・客数減15%。
- ・節電による影響。
- ・3月・4月 宿泊・宴会キャンセル・自粛による売上減。5月以降宿泊客減少。
- ・政治が震災復興に向きすぎて日本の国際競争力の低下や企業の海外シフトへの対策が打たれていない。よって全体の物量が全く増加しない。
- ・トラックチャーターオーダー減。減便39台(4月 13台、5月 13台、6月 13台)。
- ・資材の値上がり、節電の関連で入って来ない資材もある。
- ・貸切バスのキャンセル(400万円程度(3~4月分))
- ・観光施設の利用者の大幅減(3月中旬~4月中旬の1ヶ月間では対前年60%程度)
- ・新車の生産に影響(2ヶ月~1年)。中古車価格の高騰。

2 震災直後は影響があったが、現在は解消された

◇小売業

- ・材料、仕入が困難であった。2件
- ・ほぼ解消されたが、一部、部品仕入難あり。3件

◇卸売業

- ・材料が以前ほどではないが流通し始めた。一部にはまだの物もあり。

◇製造業

- ・影響は解消されたが、少し品名(特殊紙)によって影響が残っている。

◇サービス業

- ・一部の部品。

問2 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

○全体 (記入のない企業1社)

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	3	6	12	11	減少
仕入単価	低下	0	4	14	13	1	上昇
採算	好転	0	1	6	20	5	悪化
今後の売上見込	増加	0	3	6	16	7	減少

問3 現在直面している経営上の問題点がありましたら記入して下さい。

◇建設業

- ・資金繰り及び、労働者にかかる経費(会社負担の保険料・労災等)。
- ・官民の停滞。

◇小売業

- ・後継者と人材育成の充実。
- ・売上の減少。
- ・採算性を上げる。
- ・人材不足。
- ・原料費の上昇。
- ・4~5年売上げ減少傾向が止まりかけたが、今回の震災の影響でまた減少した。
- ・消費、購買意欲が心配。関連して、経営安定と資金繰りの方向が心配。

◇卸売業

- ・設備の老朽化。 ・観光客等の減少と地域人口の減少及び高齢化。
- ・仕入単価は上がってくるが、販売価格はなかなか上げられない。

◇製造業

- ・昨年と比較して閉塞感があります。 ・震災のため、関東以北の需要の喪失による受注減。
- ・公共工事の低迷による売上額の減少。 ・販売を拡大していくのに、人材が不足しがち。

◇サービス業

- ・独自の営業戦略が湧き出て来ない。 ・高速、燃料等経費の上昇が利益を圧迫する。
- ・人材育成がまだまだ。未熟人の集り。 ・景気の低迷が物量を少なくしている。
- ・来場者の減少。 ・売上がどんどん低下している。
- ・集客、コスト削減、設備投資、人材確保。 ・売上(新車)の減少による、資金不足の可能性。
- ・やはり運転資金と社員共育。
- ・売上額での「不変」を何とか保っているのは、死ぬ程努力しているから。
- ・燃料の高騰、高速道路無料化実験終了に伴う費用増。 ※お客様へ転化出来ない。

問4 3月12日(土)より「宮津与謝道路」(与謝天橋立IC)が開通いたしました。影響はございますか。

◇建設業

- ・大変便利になった。

◇小売業

- ・感じない。 2件
- ・少し影響がある。 2件

◇卸売業

- ・宮津天橋立ICから天橋立までの交通量が減り、渋滞はなくなったが、時間帯によっては今までと違う車の混み合いが見られる。(例えば、日曜日の16時以降など)

◇製造業

- ・目立った影響はありません。 4件
- ・交通渋滞が少なくなり便利になった。 2件

◇サービス業

- ・会社としての影響なし(少ない)。 5件
- ・通勤が楽になった。 2件
- ・大震災があったため、影響が分かりにくい。 ・交通量が分散化され、朝や休日の渋滞が少なくなった。

問5 国・府・市・会議所への要望がございましたらご記入下さい。

◇建設業

- ・とりあえずこれまでの要望を実現してほしい。 ・社会保険等の企業負担(50%)を軽減してほしい。

◇小売業

- ・人口増施策。 ・対高齢者事業。
- ・地域力づくり、個店経営の大きな役割を支えて下さい。

◇卸売業

- ・早く原発問題を解決して欲しい。 ・景気対策をお願いしたい。
- ・設備投資(冷蔵冷凍ショーケース、トラック等)の支援。

◇製造業

- ・大規模な財政出動(増税は反対)。 ・「原発を早く動かせ」のような要望だけはしないで下さい。
- ・原発依存から自然エネルギーへの転換。使用済燃料の処理方法も決まらない状態でウランを燃やし続けるのはいかがなものか。特にプルサーマルに使うプルトニウムは猛毒で半減期が2万4千年。
- ・早く京都縦貫開通をお願いします。京都まで時間がかかりすぎ。

◇サービス業

- ・頼りがいが無い。 ・零細企業を守ってほしい。
- ・業種によって規制緩和を考え直してほしい。
- ・政治、特に国政にしっかりしてほしい。企業努力にも限界がある。
- ・東北主導に重点を置き過ぎず、日本全体の景気低迷を問題とし、景気刺激策をどんどん打出す必要あり。
- ・観光重視が目立ちますが、それだけで宮津は大丈夫なんでしょうか?色々な事が廃止され、住みやすい宮津になっていない様に思えます。次の時代の子供達の為に何が出来るか、故郷に帰りたいと思うのでしょうか?
- ・あらゆる事への対応が遅すぎる。資金での余裕のない中、中小企業は時間がない。待ったなし。